

子ども学科 履修系統図

学科の目的	教育目標	ディプロマポリシー	1年次前期科目	1年次後期科目	2年次前期科目	2年次後期科目		
<p>豊かな人間性と社会性を兼ね備えた、自信・愛・信の育精・神に育則における総合的実践力を有する子どものため、人材の育成を目的とする。</p>	<p>(1) 多角的視野と総合的視野に裏付けされた思考と判断を持って保育が実践できる保育者を養成する。</p>	<p>(1) 保育・教育の本質を説明することができる。</p>	現代子ども論 教育原理 保育原理 社会福祉 発達心理学 保育内容総論 I 乳児保育 I 教育実習指導 I	日本国憲法 子ども家庭福祉 社会的養護 I 子どもの保健 乳児保育 II 教育実習指導 I 保育実習指導 I A	教育制度 子ども家庭支援 子ども家庭支援の心理学 子どもの食と栄養 I 社会的養護 II 保育実習指導 I B	保育者の職務と意義 子どもの理解と援助 子どもの食と栄養 II 子育て支援		
			<p>(2) 観察—分析—計画—実行のサイクルにより、向上的に保育が実践できる保育者を養成する。</p>	<p>(2) 保育の対象と内容を理解し、総合的に保育を計画し実践することができる。</p>	保育原理 幼児と健康 幼児と人間関係 幼児と環境 幼児と言葉 幼児と表現 保育内容総論 I 乳児保育 I 教育実習指導 I	保育カリキュラム論 保育内容(健康)の指導法 保育内容(人間関係)の指導法 保育内容(環境)の指導法 保育内容(言葉)の指導法 保育内容(表現)の指導法 保育内容総論 II 教育実習指導 I 保育実習指導 I A	子どもと運動遊び 子どもと音遊び 子どもと造形遊び 教育方法論 保育実習 II A 保育実習 II B 教育実習指導 II 保育実習指導 I B 保育実習指導 II A 保育実習指導 II B	教育の方法と技術 教育実習 II 教育実習指導 II 保育・教職実践演習(幼稚園)
					<p>(3) 子どもの育ちを支えることができる、専門的知識と技術をもった保育者を養成する。</p>	<p>(3) 保育をするための方法や技術を身につけ、実践することができる。</p>	野外活動 幼児と健康 幼児と人間関係 幼児と環境 幼児と言葉 幼児と表現 音楽の基礎 A 合唱 合奏 教育実習 I	子どもの健康と安全 保育内容(健康)の指導法 保育内容(人間関係)の指導法 保育内容(環境)の指導法 保育内容(言葉)の指導法 保育内容(表現)の指導法 保育内容総論 II 乳児保育 II 音楽の基礎 B 造形の基礎 合唱 合奏 保育実習 I A
	<p>(4) 日常的に保育者としての自覚を持ち、倫理観・道徳心のもと責任ある言動を取ることができる保育者を養成する。</p>	<p>(4) 他者を尊重する態度と倫理観をもち、協働することができる。</p>	基礎日本語 幼児と健康 幼児と人間関係 幼児と表現 音楽の基礎 A 合唱 合奏 教育実習 I	基礎演習 B 基礎日本語 音楽の基礎 B 造形の基礎 合唱 合奏 保育実習 I A			基礎日本語 子どもと運動遊び 子どもと音遊び 子どもと造形遊び 音楽の応用 器楽 保育実習 I B 保育実習 II A 保育実習 II B 卒業研究 I	英語コミュニケーション 基礎日本語 教育相談 子育て支援 子どもの生活 保育の表現 音楽の発展 教育実習 II 卒業研究 II
			<p>(5) 子どもと共感できる、豊かな感性と情操を身につけた保育者を養成する。</p>	<p>(5) 社会人としての教養を身につけ、自ら問題を発見し解決していくことができる。</p>	現代子ども論 基礎演習 A 倫理学 英語 I 情報処理基礎 キャンプ概論 野外活動 基礎日本語	基礎演習 B 日本国憲法 英語 II 海外語学研修 基礎日本語	海外語学研修 スポーツサイエンス A 基礎日本語 卒業研究 I	英語コミュニケーション スポーツサイエンス B 基礎日本語 保育・教職実践演習(幼稚園) 卒業研究 II
	<p>(6) 保育者としてのコミュニケーション能力を有し、職場において協働できる保育者を養成する。</p>	<p>(7) 社会の一員としての教養を身につけ、生涯に渡り主体的に学ぶことのできる保育者を養成する。</p>						